

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム おむすび苑

**目標達成計画書**

作成日: 平成 27年 01月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	現在1名の制度活用の利用者があるので、管理者は、制度の重要性を理解しているが、職員一人ひとりに内容について理解して貰い、利用者や家族が必要な時に、アドバイスが出来るように取り組んでいく。	外部や内部の研修会で、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学び、資料やパンフレットを用意し、利用者や家族が制度を必要とする時に、何時でも支援出来る体制を整える。	12ヶ月
2	37	災害対策	消防署の協力と指導を得て、防災訓練を実施し、2階と3階の利用者が、全員安全に避難出来る体制の確立と、一時避難場所を各階のバルコニーや、火元に遠い居室を消防署と話し合って決定していく。	夜間を想定した避難訓練を何回も繰り返し行い、夜勤者が自信を持って落ち着いて、避難誘導を短時間で実施出来る体制と、非常食、非常用備品、利用者の医療、薬の情報を非常持ち出し袋に入れて、いざという時に持ち出せるように準備する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。